

第7回研究会を5月25日(土)に行いました。

今回の研究会はかたの婦人参政権運動について当時の新聞記事を基に内田克彦氏の解説で、時代を追って史実に忠実に活動を学びました。

大正12年 2月17日婦人参政同盟の最初の演説会に弁士の一人としてかたも演説した。翌3月13日衆議院に「婦人参政ニ関スル建議案」が松本君平氏により上程され、翌14日付官報号外にその長文が出ている。その日夕方には、第二回の演説をしている。

3月31日に慰労会がもたれたが、卓上に盃が準備してあり、婦人禁酒会のかたは激怒し、酒は出なかつたようだ
(この年9月1日関東大震災起き、かた等は救済活動をする。)

大正13年 1月15日、今議会に対する運動の相談会を開くが、同月31日に議会は解散となる。

5月、一同に相談せず音楽会を開いたこととの不平が出て、婦人参政同盟の解散説が出たが、6月臨時総会が開かれ。会の存続を決め、かたは理事に再任された。しかし7月15日には脱会届けを出している。

10月、脱会組の河本亀子の婦人保護協会、西川文子の婦人社会問題研究会と、碧川か

たの婦人禁酒会のあわせて三団体は「婦人参政三派連合会」を結成。

大正14年 2月16日第五〇回帝国議会に対する運動は婦人参政三派連合会、期成同盟会、婦人参政同盟の三者による共同歩調で行うことを決める。(合併したさを胸に秘めて、打合わせたと讀賣新聞に書かれる。)

3月10日松本君平氏により、「婦人参政ニ関スル建議案」が上程され、婦人傍聴人が多く出席した「婦人デー」だったが、吉良元夫代議士は質問中「婦選運動者は、不節操なる女」と発言。(建議案は可決)

翌々日かた等四人は、吉良代議士の弁明を求めて議員会館に面会に行く。

大正15年 2月第五一回帝国議会にも同建議案が上程され、3月可決した。

昭和2年 2月9日、三派連合会を解散し、かたは婦人参政同盟に再び籍をおく。

同14日鷺尾よし子と『女権』を出す発表。3月〜5月『女権』の創刊号から3号まで発刊する。

かたは長男道夫のいる京都へ転居する。



今回の資料が納められている貴重な復刻本等

(県立図書館所蔵)



眞教寺訪問



鳥取大火前の眞教寺 (上)
現在の寺の門 (下)



今年一月二十五日のことになりましたが、湯梨浜での研究会の時、和田邦之助の位牌は残っていないかと話題に出て、墓が元あった鳥取市の眞教寺を訪問しました。

昭和27年4月17日の鳥取大火で「ご本尊さんと過去帳だけは持って出たが、位牌など全部焼けた」ということでした。永井住職は過去帳は見せられないと言われましたが、「確かに邦之助は明治33年に六十二歳で死亡、葬儀がこの寺でされたと過去帳に記してある」と話していただきました。(訪問者は角秋勝治・内田克彦・山本幹子・井幸子でした。)

碧川かたと婦人参政権運動との関わり

(その三)

内田克彦

(前号より続く)

一九二五(大正一四)年十一月十三日付讀賣新聞には、「議會を前に動き出した婦選の団体 ことしは獲得同盟の独り天下か」を見出しにして、「参政同盟や三派連合は果して婦選団体と見てよいかどうかは異論もある模様で―即ち先ず三派連合の方は西本「ママ」文子さん(婦人社会問題研究会)が昨年既に退いて鷺尾よし子さんに一任し自分は阿佐ヶ谷に婦人学生寄宿寮を作り今後は専心学生の教育に当たるといひ、又河本亀子さん(婦人保護協会)は結婚して家庭生活に入り今は金儲けに一生懸命であり、残るは僅に碧川かた子さん(婦人禁酒会)ひとりだけである。」との記事が載る。

それでも、かたは、孤墨を守って依然婦選運動を続けていた。

一九二六(大正一五)年二月一七日、第五一回帝国議會に「婦人参政ニ関スル建議案」が上程された。三月二四日、建議案が衆議院本會議で可決。(帝国議會は二年続けて「建議案」を可決した。)

六月一二日、日本母性保護協會が中央仏教会

館で母性保護問題に関する講演会を開き、「母体と禁酒」の演題で講演。七月、「山根菊子氏等日本婦人参政協會を作る、是にて婦選団体は婦選獲得同盟、婦人参政同盟、婦人参政三派連盟「ママ」、日本婦人参政協會の四つとなる」(『婦人界三十五年』)

一九二七(昭和二)年一月一五日、三派連合は、婦人参政同盟宛に「都合により今會議運動に参加せず」通知。同一六日、獲得同盟宛にも同様に通知。

二月九日、婦人参政三派連合は、正式に解散を宣言。かたは婦人参政同盟に再び籍を置く。

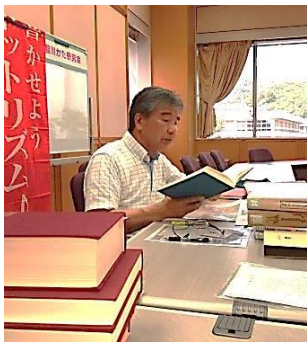
二月一四日、鷺尾よし子と相談して、三月一日から『女権』を出す計画で準備を進める。(二月一四日付讀賣新聞)

三月一七日、婦人参政権法律案が第五二回帝国議會に上程されるも、審議未了。

三月一〇日、『女権』創刊号発刊。

四月、『女権』四月号発刊。

五月一〇日、『女権』五月号発刊。



響かせよう トットリス

(この項、了)

三回連載で詳しく執筆していただき、ありがとうございます。このテーマは先

回研究会で学びを深めました。

関連イベント紹介

★わらべ館 生誕130年記念三木露風展開催中

5月16日(木)〜7月16日(火)

6月23日(日)は三木露風の誕生日です。当日午後2時〜3時に、わらべ館1階童謡コーナーで記念コンサートを開催、数々の童謡が紹介されます。「露風の母碧川かた」について四井が話します。要入館料。

★6月9日(日)午後1時半〜4時半

「場所」県立図書館2階 大研修室

「鳥取県を舞台に！歴史大河ドラマを推進する会」発表会・講演会・総会があります。たつの市の「かたの会」発起人代表瀧口節子さんと事務局長西脇千城さんが午後3時半から講演されます。

★次の研究会は

「日時」6月21日(金)

午後1時半〜3時半

「場所」県立図書館2階 大研修室

「テーマ」「碧川かたの父 和田邦之助について」

講師 前県史編さん室長 坂本敬司氏

どなたでも参加できますので積極的に参加しましょう。